



わたしが 西条で医師をする理由

西条中央病院

吉田 望 先生

西条市で10年にわたり、産婦人科医として地域医療に携わる吉田先生。産婦人科医が一人だけとなり、存続の危機を迎えた時、地域医療を支えたのは、吉田先生の強い思いと病院や家族のサポートでした。

お産ができる市内で唯一の病院だから

西条中央病院に入職してちょうど10年が経ちました。あの頃は、もう一人30年くらい勤められていた伝説の先生がいました。市内には他にサカタ産婦人科、角産婦人科、佐伯産婦人科などがありましたが、今ではお産できるのが当院とサカタ産婦人科だけになりました。

その頃、私の子どもが1歳になるときだったんですが、主人も仕事で家にいないときは、抱っこ紐でおんぶして仕事にきて、お産して、回診して、子どもが大きくなったら看護助手さんに相手をしてみたりしながら何とか乗り切りました(笑)

1日の過ごし方は



毎朝6時に起きます。8時半に出勤して、9時から外来がスタートしますが、週3日は健康管理センターで、人間ドックに入ります。

お昼はタイミングが合えば他の産婦人科のスタッフと一緒に食堂で食べます。

午後、夕方5時ごろに診療が終わります。残務処理は空いているときに少しずつやるので、残業は少ないです。その後帰宅して寝るのが11時くらいかな。

5年前からもう一人ドクターが増えて二人体制になったので、夜の当番は365日の半分になって、助かっています。当番日は、呼ばれたら来るって感じですよ。

ただし、職種柄、夜中呼ばれても次の日同じサイクルがはじまるのでちょっと辛いです(笑)。

看護師さんは三交代ですが、ドクターはそれが当てはまらないので当直は大変ですが、電話番号してるだけの日の方が多いですよ。





吉田 望 先生

YOSHIDA NOZOMI

2004年 高知大学卒業
(医学部医学科)
2006年 高知大学産婦人科
2007年 三豊総合病院
2009年 高知大学産婦人科
2010年 三豊総合病院
2013年 西条中央病院

20年前ですが、高知大学で学生実習をした時、医局の雰囲気良かったことが一つ。あと、内科オンリー・外科オンリーではなく、内科的診療も外科的手術もどっちもできる産婦人科に魅力を感じました。

それと、病院というのは病気になった人が来る場所、マイナスのイメージの場所なんです。でも、産婦人科はお産があつて、無事に赤ちゃんが生まれて「おめでとうございます」と唯一言える科なんです。嬉しいこともあるけれど、嬉しいことも両方あるのが産婦人科の魅力です。

産婦人科医になつたきっかけ

休みの日はマンガを読んだり書き物、特にペン字は小さい頃からやってて、子どもに教えたりにしています。

産婦人科に「1歳おめでとうはがき」というのを筆ペンで書いて一人ひとり送っているんですけど、喜んでくれているみたいです。

休みの日の過ごし方は

西条は今まで一番住みやすいまちです

西条の患者さんはおつとりしてて、穏やかな方が多いという印象です。

西条に来る前は、今治市に住んでいたんですが、前の先生が借りてた借家を使っていたいよと言われて引越してきました。

高知、香川、今治と移り住んできて西条で10年経ちますが、一番住みやすいですよ。もうここから動きたくないという感じ。主人もすごく気に入っています。

中心地に住んでいるせいもありますが、西条は大抵の物が手近にあるし、買い物はお散歩コースで大抵揃っちゃいます。

私が住んでる神拝地区は（全て地下水なので）水道代もかからなくて、最初は「えー？」と思つたんですけど、水も空気も美味しくて、大雪もなければ台風もあまりない、すごく暮らしやすい所です。

西条は石鎚山に守られているんだよってよく聞きますが、本当そうだと思います。

両親が共働きだったこともあつて、地域行事にあまり参加したことがなかったんです。でも、西条に来たら市の広報紙を見るのが楽しくて。

行けそうな行事があれば子どもと行くようにしてて、地域の盆踊りにも毎年参加しています。そうするとまちに愛着が湧いてきますよね。

西条の医療課題

西条って200床前後の中規模病院がいくつかあります。大きな病院があつたらと思えますね。

西条で対応できない病気は市外に行かざるを得ないので、中規模病院だけというのは一つの課題だと思います。

西条の中でも西と東では全然違つて、なかなか市内で完結しないのが西条の医療課題だと思いますね。

自分のペースで働き方を調節できるのが良いところ

私は大学を離れているのでキャリア形成は難しいですが、いわゆるフリーランスなので、自分で仕事の量を調節できるし、休暇も取りたいとどんな言いえるのが良いところです。

特にうちの病院は自由度が高いので、家族で過ごす時間もたくさんあっていい感じですよ。

うちは院長先生が頑張つてくれて、自分のやりたいことに對して周りがしっかり意見を聴いてくれて後押ししてくれる雰囲気がありますね。

今は、若年層の受診に力を入れており、学生が生理の悩みを気軽に相談できる産婦人科を目指しています。